



ふなばし し こくさい こくりゅうきょうかい

船橋市国際交流協会

平成23年度 総会

そうかい



船橋市国際交流協会の平成23年度総会が5月19日(木)午後3時から、船橋市役所11階大会議室で76名の方々の出席を得て開催されました。

会議に先立ち、3月11日東日本大震災が発生し、1万5千人余りの尊い命が失われたことに対して、田村会長からの提唱で黙祷を捧げました。

田村会長は宮城県出身であることから、震災後いち早く被災地を訪れ、あの美しい三陸海岸の街並みが津波により一瞬にして瓦礫の街と化した姿を見、人間の力の無力さ、自然の力の恐ろしさを見、被災された方がこの苦難を乗り越え1日も早い復興を願いつつ東北を後にされたとのことでした。

一方総会の議題については、平成22年度は新たに近隣各都市の国際交流協会の活動の現状把握と意見交換を目的に船橋市国際交流協会の呼びかけで、佐倉市、八千代市、習志野市、鎌ヶ谷市、市川市、浦安市、船橋市による意見交換会が開催され、今後、当日欠席の千葉市を含めた8市による情報の共有化を図り、事業活動の活性化、発展のため千葉県国際交流連絡協議会の設立が全市の賛同を得て決定されました。平成23年度の大きな事業としては、本年は船橋市とハイワード市が姉妹都市提携25周年の節目にあたり、現地を10月26日に訪問するため、市・教育委員会・交流協会等の関係者で実行委員会を設置し、詳細な内容を協議していくとの説明がありました。

次に議題の審議に入り、事業関係議案及び人事議案の5議案はすべて全会一致で承認されました。

会議後、地下の食堂で懇親会が開かれ、互いに親睦を深め、有意義なひと時を過ごし、散会いたしました。

広報委員 大橋

平成23年度 役員一覧

役 職	氏 名
会 長	田 村 泰 一
副会長 (姉妹都市)	荒 谷 美 枝 子
副会長 (広報)	小 石 裕 久
副会長 (日本語教室/相談窓口)	宮 慶 助
副会長 (総務)	金 子 研 一
副会長 (交流/ようこそ)	嘉 規 洋
監 事	相 澤 友 夫
監 事	目 崎 誠

() は担当

役 職	氏 名
総務委員長	日 野 隆
姉妹都市委員長	梁 瀬 厚 子
交流委員長	荒 谷 晃 行
広報委員長 (新任)	塚 原 美 都 恵
日本語教室委員長 (新任)	橋 口 三 保 子
ようこそ委員長	清 河 昌 之
外国人相談窓口委員長	野 上 紘 子

国際理解講座 「アジアの文化に親しむ」

講座は薬円台公民館の主催で5/15(日)、5/22(日)、5/29(日)の全3回開催されました。

第1回 金基英氏 「韓国文化と民話について」

第2回 平山イイキン氏 「ミャンマーの文化」

第3回 水口華月氏 「中国の文化」

と興味あるお話が続きました。

韓国とは多方面で深く交流しており、最近では韓流ブームに乗った熱い交流が続いています。この国に言い伝えられた民話7話や夫婦別姓などの韓国文化が紹介されました。

ミャンマーは旧名をビルマと称しましたが、昔戦争の結果イギリス領インドに併合されてその州の1つになり、その後インドから独立してビルマ連邦としてイギリス連邦内の自治領となり、ミャンマー連邦に



名称が変わり…と、その歴史と文化を話していただきました。熱心な仏教国で、その文化は古くより日本に大きな影響を与えています。

中国は歴史・文化的にも大国です。この国では普通に男女平等が実践されており、家事や育児に男性も参加するのはあたりまえのことです。学校を卒業後、地元で働き職近接のため多くの人が自転車通勤しています。情報の自由化が十分でない一面はありますが、最近ではインターネットの発達で情報も増えて、東日本の災害では、被災地の住民の節度ある避難生活が感動と尊敬を持って報道されています。

講演は各回50人を超える盛況で、アジア文化に対する関心の深さと講師の方の故国に対する深い想いを感ずる講座でした。

広報委員 渡辺(住)

アセアン検定に挑戦



アセアン検定は、民間機関主催のアジアご当地検定。第1回が昨年夏、国内4カ所で開催された。現在、タイ・ベトナム・インドネシアの3カ国が用意されており、受験は有料。国により異なるが、たとえばタイの場合は、国際機関日本アセアンセンター、財団法人日本タイ協会、タイ国政府観光庁、タイ王国大使館が後援している。

検定試験は3級受験が必須。現在タイだけが2級も設けている。どの試験も1時間で100問。出題内容は、世界遺産・地理・交通・歴史・政治・経済・スポーツ・食・日常生活・信仰・しきたり・ことばなど。公式テキストのほか何冊かの参考書が出題範囲となる。

回答は4択(2級は4~10択)。合格基準は、3級70点、2級80点。

アジアの街が好きなので、ひとり旅をくりかえしている。タイ検定を受けてみようと思ったのは昨年の暮れ。試験予定日は3月12日だったが、東日本大震災のため東京地区はひと月順延された。試験時間が重ならないので併願可能。タイ検定の3級と2級を受験しなんとか合格。検定受験もささやかな国際交流になるのかなと思って、チャレンジしてみました。

広報委員 渡部

重陽気功と国際交流の活動

重陽気功は1989年(平成元年)船橋市と西安市との友好交流促進都市提携に伴う国際交流の一環として、西安市から紹介され以後9年間市の事業として毎年西安市から気功師を招き、講習会が開催されました。(受講者約1500余名)

その間、受講者の有志により「この気功を定着させよう!!」として愛好者ネットワーククラブが結成され、以降充実を見えています。国際交流の一環として、西安市からいただいた健康の種が、今では船橋市で大輪の花を咲かせています。

船橋市が主催した事業を、民間団体が受け継ぎ、本家をしのぐほどの発展を見せ、この度、この気功法の将来への継承を託される形で、船橋市国際交流協会副会長 荒谷 美枝子さんが伝授書を授かりました。

12世紀に中国西安市で発祥した重陽気功は、独特の呼吸法で体内の血液循環を良くする伝統の功法です。この継承権を披露する記念式典が、5月22日に開催され、藤代船橋市長、及び田村国際交流協会会長他多数の方から、祝辞が述べられました。そして国際交流協会有志から記念の花束が贈呈されました。

荒谷 副会長は、「今後は健康の種を内外に蒔き、多くの地に友好親善の「健康の花」を咲かせたい。」と語っておられました。

広報委員 中谷



外国人相談窓口の最近の話題から

近頃は以前に比べ、相談の件数が減ったと感じます。とくに3月11日の震災後、日本に来ていた外国人留学生をはじめ多くの外国人が自国に帰ったと言われ、その余波もあるかと思えます。

4月の相談の中で災害時自治会放送の中国語翻訳の依頼と発音練習のために録画も頼まれました(中国語の丹さん担当)。震災後、船橋在住の外国人のために役立ちたいとがんばっている自治会や町内会の方々が相談窓口を訪れています。

緊急時や災害時に案内する文章を母国語で伝えるた

めの翻訳を頼まれたり、災害時自治会放送の文章を正しい発音で案内できるように練習をしたり、翻訳された文章を正しく伝わるようにお手伝いをすることができ、同じボランティアとして微力ながら力になって嬉しく思いました。

今までは、相談窓口を利用するのはほとんどが外国人でしたが、自治会の関係者などのように「外国人の役に立ちたい」という日本人も訪ねてくるようになり、定期的に開設している外国人相談窓口が根付いて来たなど改めて感じました。 相談窓口委員 金 基英

アンデルセン童話マラソン読書会

「ウーン！いったいこれは何を言おうとしているんですかね」。これは私たち「アンデルセン童話マラソン読書会」の講師を務める鈴木淑弘さんがときおり、読後に首を傾げながら私たちに投げかける言葉なのです。

この読書会は協会の活動の一つとして、2007年5月に始まり、今年で4年目に入りました。誰でも知っている「マッチ売りの少女」「人魚姫」など有名な作品でも、原文通りに翻訳されたものを読まれることは少なく、ほとんどが幼時に、それも簡略、意識された絵本などで記憶されたものだと思います。

現在、童話集全七巻のうち第四巻目に入ったところ

ですが、冒頭に述べた通り、頭を抱えさせるような話がいっぱいです。「どうして?」「何で?」の連続です。

デンマーク生まれの作家のこれらの作品は、私たちにとっては真に異文化そのものなのです。心の迷路に入って見るのも新鮮な感覚です。ぜひ、理屈抜きでご参加下さい。お待ちしております。

姉妹都市委員会
上岡一喜



国際交流協会行事日程

7月24日(日)	バーベキュー大会(泉民の森)	10月25日(火)~30日(日)	ヘイワード市との姉妹都市提携25周年事業(於 ヘイワード)
8月27日(土)~28日(日)	外国人避難宿泊訓練(災害時外国人サポーター養成講座同時開催)	11月25日(金)	書道教室 年賀状づくり
秋	バス旅行(江戸東京たてもの園)	12月	カルフォルニア州立大学イーストベイ校 留学生募集開始
秋	短期日本語速習講座 第2回	2月	2012 船橋市国際交流協会ニューイヤーパーティー
秋	日本語学習支援者養成講座1		

詳しいことは船橋国際交流協会事務局(047-436-2083)までお問い合わせください。また国際交流協会のホームページにも掲載する予定です。

お知らせ

2011災害時外国人サポーター養成講座

災害時に言葉や文化が異なることで災害弱者になりうる外国人を支援するサポーターを養成します。新海県中越沖地震や東日本大震災で支援活動を行った方々を講師に迎え、必要な知識・心構えの講座のほか、模擬避難所で支援体験を行います。

日時 7月9日(土)、23日(土)、8月7日(日)、27日(土)~28日(日)、9月10日(土)、平成24年1月14日(土)~15日(日) 原則午後2時~4時30分(全6回)

会場 船橋市役所ほか

対象 講座修了後に船橋市国際交流協会員として、外国人支援に協力できる人
※ 語学力は問いません

定員 30人(多数は選考) 費用 無料

申込 6月30日(木)(必着)までに、申込書に必要事項を記入して事務局へ(FAX可)
※申込書は事務局で配布するほか、協会ホームページ(<http://www.fira.jp/>)からも取り出せます。

※このお知らせは既に15日の「広報ふなばし」及び協会ホームページに掲載されています。

あとがき

ふるさとの花 アユタヤの安宿で描いたブルメリアは、隣国ラオスの国の花。ネパール国花シャクナゲは福島の県花でもある。ふるさとして愛されふるさとを象徴する。紫花をつけるキリは岩手。宮城はハギ。今年は、ふるさとの花にかける言葉が、まだ見つかからない。

(O.W)



ハイワード留学生からのお便り

私は2010年9月からカリフォルニア州立大学イーストベイ校に留学しています。キャンパスに来て一番驚いたことは多くの外国人留学生です。キャンパスで中国語、韓国語、アラビア語など他国の言語を聞かない日は一日もありません。特に中国からの留学生は非常に多く、世界への意識の高さと経済力を目の当たりにします。日本でここまでの多様性を直接感じることはなかったので、非常に新鮮でした。授業の進め方は全く異なり、教授と生徒の質疑応答で進んでいきます。国際政治の授業では毎授業20ページ以上の文献が課され、読み終わるのに苦労しています。しっかり内容を頭に入れてもクラスではなかなか発言できないので、一年間を通しての私の課題です。生活面ではアメリカ人のルームメイトと非常に仲がよく、春休みには彼女の実家で過ごすことができました。週末には友達とパーティーを開いたり、サンフランシスコに行ったりして過ごしています。残りの短い時間を無駄にせず、勉強と遊びを両立させたいと思います。

清浦 千絵

(本年12月に留学生の募集を開始いたします。なお、清浦さんは6月10日に帰国されました)



清浦さんの部屋でメキシカンパーティーを開く
(左から2番目が清浦さん)



模擬国連に参加した時

ズームアップ

メティ・ロシタワティさん(インドネシア)

船橋市豊富のセコメディック病院の看護師研修生のメティさんです。

日本の進んだ医療や看護技術を学びたくて2009年11月に来日。大学を卒業した後インドネシアのバンドンで14年間、看護師をしていました。

「漢字が難しい」と言いながら、いつも看護師試験問題を読む練習をしています。漢字さえちゃんと読めたら、問題の内容は、メティさんにとっては簡単なものばかりです。

月曜と水曜と金曜に日本語を教えてもらう時間があって、ほかに自習も毎日していますが、来年2月の2回目のチャレンジで国家試験に受からなければと、ついあせってしまう毎日です。勉強のほかに、セコメディック病院で看護助手として働いていて、脳外科の患者さんのお世話をしています。

忙しいので近くのアンデルセン公園にもまだ行っていません。日本の食べ物が何でも食べられるというわけではないのですが、ゴマ茶や豆

乳が気に入っていて日本語の先生にもすすめて、勉強の途中にも飲んでいます。

インドネシアには、両親と3人の兄妹がいます。来日以来1度だけ帰国しました。

原子力発電所の事故の後、勉強を切り上げて帰国してしまう学生や研修生が多く、同じ病院で働いていたもうひとりの研修生も帰国してしまいました。

このインタビューの中で、どんな質問をしてもほとんど「漢字が難しい」と答えていたメティさんが、日本で看護師として働くことができるようにみなさんで応援してください。1年半前に日本に来る4ヶ月前に初めて日本語を学び始めたことを考えれば、素晴らしい会話力でした。

広報委員 福井



セコメディック病院で働くメティ・ロシタワティさん